

LIBRARY



2024年の12分の1がもう過ぎてしまいましたね！

『なれのはて』 加藤シゲアキ著 講談社 2023



終戦前夜の昭和20年8月14日午後10時半頃から15日未明にかけて、秋田市土崎地区の日本石油秋田製油所は約4時間にわたり激しい空襲を受けた。最後の空襲と呼ばれるこの史実を下敷きに書かれた著者渾身の1冊。物語は、報道部から左遷されイベント部に異動になった守谷が、同僚吾妻がぜがひでも通したい企画につきあい、ある1枚の絵の作者を探そうちに行きついたのが、土崎地区に住む地元の有力者、猪俣一族だった。過去と現在をつなぐ系を手繰り寄せる守谷と吾妻。タイトル「なれのはて」に込められた著者の思いは？

『G65』 石川宏千花著 さ・え・ら書房社 2023



14歳のために小説を書いている…と明言している著者の石川宏千花さん。この本もまさにそんな1冊です。G65とは何かといえば、ブラジャーのサイズ。主人公の貴和は、14歳にして自分の胸に過剰に注がれる視線に傷つき、とある事件が起きたことで、転校し叔母さんの家に身を寄せる。著者は、自分の体に向かわざるをえない思春期の特に女の子に寄り添う物語をいくつも書いています。悩みは違っても、悩む心はきっと共感を持ってもらえるのでは。

『宙わたる教室』 伊予原新著 文藝春秋 2023



物語の舞台は新宿にある都立の定時制高校。そこに集うのは、様々な事情で昼間の学校に通うことができず、「もう一度学校に通いたい」という思いを抱いた10代から高齢の幅広い人たちだった。この学校に赴任した理科教師、藤竹はそんな彼らと科学部を結成し、「火星のクレーター」を再現する実験をはじめ。「最高の科学青春小説！」との呼び声も。著者は東京大学大学院理学系研究科で地球惑星科学を専攻。火星に詳しいのも納得！

『小説版ゴジラ-1.0』 山崎貴著 集英社オレンジ文庫



日本での公開も話題となっていました、それ以上に世界でも評判が高い『ゴジラ-1.0』、先日米アカデミー賞の視覚効果賞にもノミネートされていましたね。こちらは、監督自ら最速で小説化したものです。もちろん、先に映画を見ることをお勧めしますが、映画を見た後に、小説を読むときっと見逃してしまったシーンや、細部がより鮮明に分かり、2度楽しめる感じです。

『ガリレオの事件簿』 東野圭吾著 文藝春秋 2022



東野圭吾のガリレオシリーズが、小学高学年・中学生向けにリニューアルして出版されたので、1冊だけ買ってみました。出版社が、人気作家東野圭吾のファンを小中学校でも開拓しようとい考えたのでしょうか。内容は同じなのですが、やや難しい漢字にはルビがふられ、表紙や本文にあるイラストはうめという夫婦ユニットが手掛けています。東野圭吾を未読の方におススメかも。

『みんなで読む源氏物語』 渡辺祐真編 ハヤカワ新書 2023



様々な分野の『源氏』に通じ『源氏』を愛する人たちに集結してもらいその魅力や自分の源氏物語との付き合い方を語ってくれます。源氏物語が書かれたのは平安時代。印刷技術がない時代なので、手描きで書き写されたため様々な源氏物語が生まれてしまったそうです。それを一つに統一したのが、鎌倉時代の藤原定家。今もスタンダードはこれ。武将たちも源氏は大切な教養。パリ万博で日本文化を海外に紹介する機運が高まり、1882年には末松謙澄による英訳(抄訳)が生まれ、1925~33年にイギリス人の東洋学者アーサー・ウェイリーによる英訳(ほぼ完全な訳)が刊行。与謝野晶子、谷崎潤一郎、窪田空穂などが、現代語訳。最も新しい訳は角田光代さんですね。(今度入れます！)

『浮世絵と芸能で読む江戸の経済』 櫻庭由紀子著 笠間書院 2023



江戸はリサイクル社会で、SDGsのお手本のように語られることも多い。家康が望んだ戦のない世界と循環型の社会と経済。けれど、実はそうするしかないくらい江戸の経済は困窮していたのだと著者は言う。宵越しの金は持たないという江戸っ子の気風も、宵越しの金は持てなかったのが事実。けれど、だからといって、辛気臭い顔をしているような江戸っ子じゃない。幕府の右往左往に振り回されつつも、庶民はどっこい、独自の文化を築く。江戸のサブカルともいえる浮世絵と芸能で読み解く一冊。

『超人ナイチンゲール』 栗原康著 医学書院 2023



医学書院の〈ケアをひらく〉シリーズは、注目作品が多いのですが、アナキスト栗原氏の手にかかると、子ども向け偉人伝に欠かせぬナイチンゲールが、まったく違う側面を持って生き生きと立ち上がってくるのです。そもそも、栗原さんの文体がこれまでの偉人伝にあるまじき面白さ！たとえばこんな描写「…あっけにとられる役人。それをしり目に、ナイチンゲールが檄をとばす。野郎ども、やっちまいな。へい！倉庫をこじあけてのりこんでいく男たち。うおお、いっぱいあるじゃねえか。…」1820年生まれのナイチンゲールの超人ぶり、そして何よりケアの本質を突く衝撃作！

『オッペンハイマー 上中下』 カイ・バード他 ハヤカワ文庫



3年生は理科の授業で、ユダヤ人科学者オッペンハイマーについても学んだことと思います。第二次世界大戦中、枢軸国の原爆開発に焦ったアメリカが原子爆弾開発・製造のために、科学者、技術者を総動員した国家計画マンハッタン計画の中心的人物であり、その後「原爆の父」と言われたましたが、戦後は水爆開発や核拡散に反対。核の国家管理を訴え政府や研究仲間と対立。冷戦下ではソ連のスパイ容疑をかけられ公職追放の身となっていきます。2024年日本でも上映予定の映画『オッペンハイマー』の原案となったのはこの作品です。人類にとって科学とは、平和とは何かを深く追究したこの作品は、2006年にピューリッツァー賞を受賞しています。日本での上映については、映画にヒロシマ・ナガサキが描かれなこともあり、賛否両論あったと聞いていますが、上映されたら見てみたいと思っています。

1月にはいった本の一部です。リクエストは常時受け付けています。

登録番号	NDC	書名	著者名1	出版者	出版年
039531	141G	愛とラブソングの哲学	源河亨 著	光文社	2023/10
039516	141K	恐怖の正体	春日武彦	中央公論新社	2023/09
039514	1600	創造論者 vs. 無神論者	岡本亮輔	講談社	2023/09
039495	222W	入門こんなに面白かった三国志	渡邊義浩	大和書房	2019/11
039508	289H	愛国心を裏切られた天才	宮田親平	朝日新聞出版	2019/09
039519	330B	お金はなんの役に立つ?	バックラリオ	太郎次郎社	2022/03
039515	443N	なぜ宇宙は存在するのか	野村泰紀 著	講談社	2022/04
039512	451B	地球はどこまで暑くなる?	バックラリオ	太郎次郎社	2023/09
039513	462I	外来種は悪じゃない	伊地知英信	草思社	2023/08
039521	462Y	富士山境目図鑑	山梨県富士山科学	丸善出版	2020/05
039520	470B	もしも草木が話したら?	バックラリオ	太郎次郎社	2023/03
039518	491B	頭のなかには何がある?	バックラリオ	太郎次郎社	2022/03
039511	611S	世界で最初に飢えるのは日本	鈴木宣弘	講談社	2022/11
039522	913Ho	明治・父・アメリカ	星新一	新潮社	2007/11
039523	913Ho	人民は弱し官吏は強し	星新一	新潮社	2006/02
039496	913T	古典落語 100 席	立川志の輔 選	PHP 研究所	1997/11
039524	933C	ストーンサークルの殺人	クレイヴン 著	早川書房	2020/09
039534	943R	西部戦線異状なし	レマルク 著	新潮文庫	2020/09
039494	953D	うけいれるには	デュポン=モノ	早川書房	2023/03

図書委員会新企画 ブックカフェ報告 2024. 1. 26 実施

「数学の本ではなくて、数学することを考える本を読もう」 by 松本紘一朗先生



当日は 10 人以上の参加があり、和やかななかで松本先生のお話をお聞きしました。中学時代は最も得意で好きな科目は英語で、高校・大学と進むにつれ、数学の面白さに気づき数学の先生になったそうです。今回は 4 冊の本を紹介しながらのお話でしたが、特に詳しく話してくれたのが、『**数学ガールの秘密ノート 学ぶための対話**』（結城浩著 SB クレイヴン）と、『**教科書では学べない数学的思考**』（ジョン・マイク他共著 新評論）という 2 冊です。後者は付箋のついた原書で、何千回読んだかわからないバイブル的存在のようです。この日のお話で印象的だったのは、松本先生の「生徒に理解してもらおうと思って授業はしていない」という発言です。「え！ではどういう思いで授業をしているのですか？」と伺うと、「その問題について、考えてほしいと思っているかな。もちろん、みんなは理解して正解に辿り着きたいと考えているだろうけど。考えて、わかったという体験が大事だと思っていて、そのわかったは、一人ひとり違っていいんだよね。自分にとって“わかった！”が誰かにとっては、そんなことはとうに知っていたことであっても全然かまわないんだよね。」と、そんな話をしてくれました。『**教科書では学べない数学的思考**』は、2019 年に翻訳されて日本語版が出ています。まさに「数学的に考える」とはどういうことかがわかる本です。（さっそくアマゾンで購入しました。）感想です。「**松本先生がいつも、どんなことを考えながら授業をしているかがわかり、この学校の数学の授業の良さがこういうところにあるんだなあと思った。**」「**自分は“数学すること”を問題を解くことで終わらせてしまっていて、そのせいか数学が好きでも嫌いでもありません。松本先生が素敵な本を紹介してくださったので、この本を読んでもまずは好きになるところから始めようと思えました。**」「**松本先生の授業は、解くことよりも考えることを大切にしているなあと思っていたので、その気持ちをより詳しく聞くことができた。**」授業とはちょっと雰囲気の違う先生を囲んでのラフな時間はいかがだったでしょうか？



奥のほそ道を学んだあとに、江戸の暮らしについて、グループでテーマを決めて調べて発表しました。発表を聞きに行かせてもらいましたが、楽しかったです。ぜひ江戸を舞台にした小説もどうぞ！宮部みゆきさんや、高田郁さんがおすすめです。



75 回生生活学習課題



社会科のまとめの学習でもあるレポートに取り組んでいる 75 回生。数学の時間に、武埴先生から、統計についての話を聞きました。

75 回生国語 昔の暮らし、今の暮らし 江戸時代の生活って？



2 月にスピーチ大会が控えている 77 回生。冬休みの課題になっていたスピーチ原稿を、さらにブラッシュアップ。図書館委にはたくさんのスピーチに関する本を用意しました。今は展示コーナーに並べて、先輩や先生からのスピーチするときのひとことアドバイスも展示していますよ。ぜひ参考にしてください。

77 回生国語 スピーチ大会に向けて…



2 月にスピーチ大会が控えている 77 回生。冬休みの課題になっていたスピーチ原稿を、さらにブラッシュアップ。図書館委にはたくさんのスピーチに関する本を用意しました。今は展示コーナーに並べて、先輩や先生からのスピーチするときのひとことアドバイスも展示していますよ。ぜひ参考にしてください。